

## 世界史

1

解答

- 問1. ウ 問2. ア 問3. オ 問4. エ  
問5. ウ 問6. エ 問7. オ 問8. ア

問9. ア 問10. ウ

### 解説

#### 《古代～現代における朝鮮半島史》

問4. ア. 誤文。澶淵の盟は、宋と契丹の和議。宋は兄、契丹は弟とされ、宋が契丹に毎年絹と銀をおくことが定められた。これは冊封ではなく、朝貢でもない。

イ. 誤文。ベトナムの陳朝は元の遠征軍を3度にわたり撃退し、独立を保持した。

ウ. 誤文。海外諸国の朝貢を促すべく鄭和に南海大遠征を行わせたのは、明の永楽帝である。

オ. 誤文。総理各国事務衙門は、1860年の北京条約の後に清が設置した機関で、朝貢事務ではなく各国との対等な外交交渉事務を担当した。

問5. ア. 誤文。高句麗の広開土王は倭（日本）の軍勢を撃退したとされる。

イ. 誤文。倭が朝鮮半島に援軍を派遣したのは百濟救援の際で、唐・新羅の軍勢に敗れた。

エ. 誤文。募兵制は唐で採用された兵制。

オ. 誤文。都護府は唐が異民族支配のために設置した機関である。

問7. 高句麗滅亡後、その遺民とともに大祚榮のもとで渤海を建国した民族は、ツングース系の靺鞨人である。

問8. イ. 誤文。世宗が訓民正音（ハングル）を制定したのは朝鮮王朝の時代。

ウ. 誤文。高麗は仏教を国教とした。

エ. 誤文。兩稅法は唐で実施された税制である。

オ. 誤文。高麗の都は開城である。漢城は朝鮮王朝の都。

**問10.** ア. 誤文。統監府は韓国併合前の 1906 年に設置された。韓国併合後は朝鮮総督府が設置され、植民地支配の中心となった。

イ. 誤文。1909 年安重根により伊藤博文が暗殺された翌 1910 年に韓国併合が行われた。

エ. 誤文。1919 年の大規模な独立運動とは三・一独立運動のことである。3 月 1 日におこった。1919 年 5 月 4 日には中国で反帝国主義・反封建の五・四運動が起こった。

オ. 誤文。ハーグ万国平和會議に高宗が密使を派遣し日本の侵略を訴えたハーグ密使事件は、韓国併合前の 1907 年に起こった。

2

解答

問1. イ 問2. エ 問3. オ 問4. ア

問5. ウ 問6. ウ 問7. イ 問8. イ

問9. キ 問10. セ 問11. イ 問12. オ

問13. ウ

---

### 解説

---

#### 《19世紀末から20世紀前半の中国》

**問1.** ア. 誤文。旅順・大連を租借したのはロシアで 1898 年のこと。

ウ. 誤文。1898 年にドイツが租借したのは膠州湾である。

エ. 誤文。1898 年にイギリスが威海衛と九竜半島を租借した。アメリカは中国分割に出遅れ、國務長官ジョン=ヘイが門戸開放宣言を行った。

オ. 誤文。1899 年にフランスは広州湾を租借した。

**問2.** ア. 誤文。中国同盟会は孫文を中心に東京で結成された。

イ. 誤文。儒教を信奉し反キリスト教運動を展開したのは、中国分割が進行していたころの義和団に代表される排外主義団体である。彼らの排外行動を教案（仇教運動）という。

ウ・オ. 誤文。中華民国成立後、孫文との取引によって臨時大總統となつた袁世凱が独裁政治を進めると、これに反対して第二革命が起こつたが失敗し、孫文は東京へ亡命した。亡命先の東京で孫文は中華革命党を結成したが、これは五・四運動後に中国国民党に改編された。

**問4.** イ. 誤文。新式海軍の北洋艦隊が組織されたのは 19 世紀末の洋務

運動においてである。

ウ. 誤文。光緒帝は戊戌の政変以降幽閉状態にあり、光緒新政期では政務をとっていない。また、光緒新政では科挙廃止、憲法大綱、国会開設の公約が実現している。

エ・オ. 誤文。やや難。国会開設は1908年の憲法大綱により約束された。1905年は科挙が廃止された年である。臨時約法は中華民国初期の1912年に公布された暫定憲法。

**問7.** ア. 誤文。袁世凱は議会を弾圧した。

ウ. 誤文。急速な工業化と農業の集団化は、中華人民共和国成立後の毛沢東の下で進められた政策。

エ. 誤文。モンゴルやチベットは独立の動きを示したが、これらは弾圧された。

オ. 誤文。日本の支援を受けて軍閥の争いに一時的にでも勝利したのは段祺瑞や張作霖である。軍閥は袁世凱の死後、政権をめぐって各地で分立し、日本やその他列強の支援を受けつつ抗争を繰り広げた。

**問8.** ア. 誤文。中国共産党は1921年、陳独秀を初代委員長として成立了。

ウ. 誤文。中国共産党は1934~36年に長征を行って根拠地を陝西省延安に移した。

エ・オ. 誤文。日本の降伏後、国共内戦が再開した。アメリカの支援を受ける国民党に対し、共産党は農村部で支持を広げ、1947年から反攻に転じた。1949年には北京を接收し、国民政府の首都南京も陥落させ中国統一を実現し、中華人民共和国を建国した。その際、国民党の蒋介石は台湾に逃れ、中華民国を継続した。

### 3 解答

問1. エ 問2. イ 問3. エ 問4. ウ

問5. エ 問6. ア 問7. ア 問8. オ

問9. ウ 問10. イ 問11. オ

### 解説

#### 《中世キリスト教の歴史》

問1. ア. 誤文。ユスティニアヌス帝は6世紀の東ローマ皇帝。

イ. 誤文。ユリアヌス帝は4世紀の皇帝で、宗教寛容令を発しキリスト教

徒の優遇を廃止した。

ウ. 誤文。ディオクレティアヌス帝は3世紀末から4世紀初頭の皇帝で、キリスト教徒への大迫害を行った。キリスト教公認は313年にコンスタンティヌス帝が発したミラノ勅令でなされた。

**問2.** ア. 誤文。『新約聖書』はニケーア公会議で編纂が決定したわけではない。1世紀頃から記述されていったものが4世紀に公認された。

ウ・エ・カ. 誤文。エフェソス公会議でもアタナシウス派が正統とされ、ネストリウス派が異端とされた。ネストリウス派はその後中国にまで伝播する。単性論はカルケドン公会議で異端とされた。

オ. 誤文。エジプトのコプト教会に継承されたのは単性論。

**問3.** ア. 誤文。正教会（東方教会）の典礼用語はギリシア語である。

イ. 誤文。正教会組織の本拠はコンスタンティノープルに置かれた。

ウ. 誤文。キリル文字はスラヴ人への正教会布教のために考案された。

オ. 誤文。ビザンツ皇帝はコンスタンティノープル総主教の人事権を持つなど、正教会に大きな影響力を持っていた。

**問4.** ア・イ. 誤文。メロヴィング家のクローヴィスはアリウス派の広がるゲルマン諸族の中で初めてキリスト教のカトリックに改宗した。トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム勢力を撃破したのはカロリング家のカール=マルテル。いずれも教皇領の起源とは直接関係はない。

エ. 誤文。カロリング家のカール（大帝）はフランク王国の統一を進め、800年に教皇からローマ皇帝の冠を受けたが、全土を教皇に献上したという事実はない。

**問7.** イ・エ・オ. 誤文。フィリップ4世は聖職者への課税をめぐる問題から教皇ボニファティウス8世と争い、教皇をアナーニに幽閉した。ドイツのハインリヒ4世は11世紀に聖職叙任権をめぐって教皇グレゴリウス7世と争い、破門されてカノッサで謝罪した（カノッサの屈辱）。なお、神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世は第3回十字軍に参加した人物。

ウ. 誤文。ヴォルムス協約により、聖職叙任権は教皇が有する原則が確認された。

**問8.** ア. 誤文。重量有輪犁は牛馬にひかせるものなので、牛馬の生産は増加こそすれ減少はしない。

イ. 誤文。三圃制の普及により、麦の生産量はそれまでの2倍になった。

ウ. 誤文。囲い込みとは15世紀末以降にイギリスでおこった動き。地主が開放耕地などを柵で囲い込んで牧草地に変えた。

エ. 誤文。製粉のための水車は荘園領主の所有であり、農民（農奴）は使用料を支払って利用した。

**問10.** ア. 誤文。イベリア半島でアラビア語文献やギリシア語文献の翻訳の中心となったのはトレドやコルドバ。

ウ. 誤文。古典作品はイベリア半島やシチリア島を経由し、その地で翻訳されて導入された。

エ. 誤文。スコラ哲学とはキリスト教神学の体系化の学問である。アリストテレス哲学を導入して発展した。ビザンツ帝国で体系化されたローマ法とは関係がない。

4

解答

問1. エ 問2. ア 問3. イ 問4. キ

問5. ウ 問6. ア 問7. エ 問8. ウ

問9. ア 問10. ウ 問11. ウ

解説

### 《近現代における移動技術発展の歴史》

**問2.** イ. 誤文。「アジアへの輸出」が誤り。南北戦争中から入植者が増加した西部では、牧畜業や小麦生産が発達し食料を東部に供給、ヨーロッパにも輸出するようになった。

ウ. 誤文。憲法修正により奴隸から解放された黒人は、多くはシェアクロッパーとして苦しい生活を続けた。アシエンダ制はラテンアメリカ諸国で見られた大土地所有制の名称。

エ. 誤文。大陸横断鉄道は移民の労働力によってその建設が支えられ、「東半分はアイルランド人が、西半分は中国人がつくった」と言われた。

**問6.** イ. 誤文。レザー=ハーンが1925年に開いたパフレヴィー朝はイランに国号を改め、近代化を推進したが、石油利権はなおもイギリスが保有した。

ウ. 誤文。イラク地域はイギリスの委任統治下に置かれた。

エ. 誤文。アラビア半島を統一し、1932年にサウジアラビア王国を建国したのはイブン=サウードである。

**問7.** ア. 誤文。エネルギー保存の法則を発見したマイヤーとヘルムホル

ツはドイツの学者である。

イ. 誤文。エンジンの発明者として有名なダイムラーもディーゼルとともにドイツの人物。

ウ. 誤文。ベルトコンベア方式による自動車の大量生産を始めたのはアメリカのフォードである。

**問8.** ア. 誤文。塹壕戦による戦線膠着を打破した新兵器である戦車は、イギリスが開発し、ソンムの戦いで用いた。

イ. 誤文。イーピルの戦いで初めて使用された毒ガスは、ドイツ軍がフランスに対して用いた。

エ. 誤文。第一次世界大戦中に飛行機が偵察や爆撃に用いられるようになるが、ドイツがスペインの小村ゲルニカを空爆したのは、第一次世界大戦中ではない。スペイン内戦中の1937年のことである。

**問9.** イ. 誤文。ワルシャワ条約機構を結成した中心国はソ連。

ウ. 誤文。文化大革命を行ったのは毛沢東。

エ. 誤文。ソ連でペレストロイカを開始したのはゴルバチョフ書記長。

**問10.** ア. 誤文。1957年ソ連が世界で初めて人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功、その翌年にアメリカが人工衛星エクスプローラー1号を打ち上げた。

イ. 誤文。ボストーク1号による有人宇宙飛行に初めて成功したのもソ連である。

エ. 誤文。月面探査を行うアポロ計画はアメリカの宇宙計画。

オ. 誤文。戦略防衛構想（通称スターウォーズ計画）を発表したアメリカの大統領はレーガン。

**問11.** ア. 誤文。コンピュータ開発はアメリカ陸軍で開始された。

イ. 誤文。インターネットの起源はアメリカ合衆国。

エ. 誤文。人工知能（AI）が活用されるようになったのは21世紀。

5

解答

問1. イ

問2. ア

問3. エ

問4. イ

解説

### 《冷戦期の世界》

**問2.** イ. 誤文。中国はインドとともに「平和五原則」を打ち出したが、

核開発は放棄せず、1964年に原爆実験に成功、核保有国となった。

ウ. 誤文。「国連加盟国すべて」が誤り。1968年の核拡散防止条約(NPT)では、国連加盟国である米ソ英仏中以外の核保有が禁止された。

エ. 誤文。国際原子力機関(IAEA)は、アメリカ大統領アイゼンハワーによる国連総会の演説「平和のための核」をきっかけに設立された。

**問3.** 送信先のソ連指導者はフルシチョフである。

ア. 誤文。フルシチョフは初めてアメリカを公式訪問したが、アメリカ大統領アイゼンハワーとの会談はキャンプ=デーヴィッドで行われた。マルタ会談は1989年のブッシュ(父)とゴルバチョフによる。

イ. 誤文。ソ連は非同盟諸国会議には不参加である。

ウ. 誤文。チェコスロvakiaで1968年に起こった民主化運動「プラハの春」を軍事力で鎮圧させたのはブレジネフである。

**問4.** 難問。A. 日本がソ連と国交を回復した日ソ共同宣言は1956年で、日本はこれにより国連加盟を果たした。B. 日中共同声明で中国との国交が回復したのは1972年。C. 日米新安全保障条約(日米安全保障条約改定)は1960年に成立した。D. 日韓基本条約は1965年に結ばれた。よってイ. A→C→D→Bが正解。